

## 3級 学科試験問題

- 試験時間 60分
- 問題数 25題 A群(真偽法25題)

CBT に登録した試験問題の中から、アットランダムに1パターンを抽出しています。

### ■A群(真偽法)

- 必要以上の洗剤・薬剤は使用しない。
- 清掃は、単に美観を保持すればよい。
- 掃除用の流しとして使用している衛生器具をスロップシンクという。
- 普通のコンセントには、1000V の電圧がかかっている。
- カーペットに使用される繊維素材のナイロンは、耐摩耗性に優れている。
- コンポジションビニル床タイルのバインダー含有率は、30%以上である。
- リノリウムは、多孔質で水やアルカリ性の洗剤や溶剤に弱い。
- 床維持剤は、大きく分けるとフロアーシーラーと床仕上げ剤になる。
- 漏電ブレーカーは、電流が流れ過ぎたときに自動的に電源を切るようにしたものである。

10. 水素イオン濃度pH9は、弱酸性である。
11. 床の洗浄や各種建材の清掃に使用される一般用洗剤(汎用洗剤)は、一般的に弱酸性である。
12. 階段のノンスリップは、土砂が詰まらないように床維持剤を塗布する。
13. 毎日1回ないし数回行う清掃作業のことを定期清掃という。
14. カーペットのしみの種類は、水溶性、油溶性、特殊なものに分類される。
15. 建築物内のほこりの予防には、ほこりの侵入防止とほこりの発生防止の2方面がある。
16. 事業系一般廃棄物は、再生利用や資源化を推進する。
17. 廃棄物の運搬は、人荷用のエレベータを使用する。
18. 廃棄物の収集には、保護手袋を用いる。
19. 成分内容が不明な薬品は、みだりに処分しない。
20. 脚立を使用する場合、短時間であれば開き止め金具を使用する必要はない。
21. 利用者の少ない建物内では、ほこり、騒音、振動を発生させてもよい。
22. 清掃作業は、目先の異物の処理さえできればよい。

23. 清掃作業は、建築物利用者の迷惑になつたり、不快の念を起こさせてはならない。

24. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」では、廃棄物を通常廃棄物と産業廃棄物の二つに分けている。

25. 汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」でいう廃棄物である。

2025 年度 ビルクリーニング技能検定

## 3 級 学科試験

< 正解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	誤
3	正
4	誤
5	正
6	誤
7	正
8	正
9	誤
10	誤
11	誤
12	誤
13	誤
14	正
15	正
16	正
17	正
18	正
19	正
20	誤
21	誤
22	誤
23	正
24	誤
25	正